

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第92回）に係る面談（検討会后）

2. 日時：令和3年7月12日（月） 17時15分～17時45分

3. 場所：原子力規制庁18階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

澁谷企画調査官、林田管理官補佐、大辻室長補佐、石井係長、久川係員、
塩唐松係員

福島第一原子力規制事務所（テレビ会議システムによる出席）

小林所長、坂本原子力運転検査官

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー 担当3名

（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○原子力規制庁と東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）は、第92回特定原子力施設監視・評価検討会（以下「検討会」という。）における指摘事項について認識を共有するとともに、原子力規制庁は以下のコメントを伝えた。

【スラリーの安全な保管と今後の対策について】

- ✓ 高性能容器(HIC)内のスラリー移替え作業について、7月下旬から移替え作業を実施するとしているが、移替え作業に係る安全対策及び移替え作業のスケジュールの詳細については、別途面談において提示すること。
- ✓ スラリー安定化処理設備の補正申請について、審査を進めていく観点から、設備本体と脱水物保管容器に関する補正についてそれぞれスケジュールを検討し、説明すること。

【令和3年2月13日の福島県沖地震を踏まえた東京電力福島第一原子力発電所の耐震設計における地震動とその適用の考え方】

- ✓ 検討会において提示した原子力規制庁側の考え方に対する東京電力の意見については、2週間目途で書面により提出することとし、その進捗状況については1週間目途で報告すること。
- ✓ 現在審査中の案件のうち、燃料取り出し設備以外の設備に対する耐震設計の考え方についても提示すること。

○東京電力から、コメントについては検討の上、対応が必要なものについては、適切に対応する旨回答があった。

6. 資料

➤ なし